

(案)

平成23年8月 日

村上市長 大滝 平正 様

(仮称) 荒川統合保育園建設検討委員会
委員長 松田昭平

(仮称) 荒川統合保育園の建設について(答申)

平成23年6月30日付けで当委員会に諮問のありました「(仮称) 荒川統合保育園の建設」について、慎重審議の結果、以下のとおり答申いたします。

記

1. 「安心・安全でかつ生きる力を培う環境を備えた保育園」

子どもたちが登園したくなるような夢のある外観、地場産材をふんだんに活用した暖かみのある内観を兼ね揃え、子どもたちがたくましく生きる力を育むことのできる施設の建設をお願いしたい。

2. 「200人定員の子どもたちが安定して過ごせる機能的な保育園」

200人の子どもたちが落ち着いた生活を過ごせるよう、保育内容に応じたゾーン分けや利用者の状況に対応した機能、多様な利用目的に対応した自由度の高い機能的な施設の建設をお願いしたい。

3. 「新エネルギーを取り入れるなど環境に配慮した保育園」

太陽光発電などの新エネルギーや既存樹などを取り入れた自然環境にやさしい施設であるとともに日差しや通気性、積雪など快適環境に配慮した施設、ふれあい・体験を通じて豊かな感覚を磨くことのできる保育環境に配慮した施設の建設をお願いしたい。

4. 「子どもたちの絆が築かれ、地域に開かれた保育園」

高齢者などが歩いて暮らせるコンパクトなまちづくりを推進する中で、景観や地域社会と調和し、地域に親しまれ、子どもたちと地域の絆が築かれる施設の建設をお願いしたい。